

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

福祉環境調査会記録

平成 28 年 8 月 9 日(火)
 全 員 協 議 会 室
 9 時 58 分～11 時 16 分

【委 員】 道下委員長、足立副委員長、柳楽委員、小川委員、森谷委員、平石委員
 澁谷委員、西村委員

【委員外議員】 野藤議員、佐々木議員、上野議員、芦谷議員

【議長団】 西田議長

【執行部】 川崎健康福祉部長、杉本地域福祉課長
 猪木迫地域医療対策課長、中田健康長寿課長、有福子育て支援課長
 宮崎市民生活部長、三浦医療保険課長
 埴総合窓口課長、原田環境課長
 吉永金城支所長、山田市民福祉課長
 田村旭支所長、佐々尾市民福祉課長
 細川弥栄支所長、小田市民福祉課長
 斎藤三隅支所長、夫田市民福祉課長
 河野上下水道部長、小川管理課長、岸本工務課長
 塚田下水道課長

【事務局】 外浦書記

議 題

1 執行部報告事項

- (1) 「平成 28 年度臨時福祉給付金」および「障害・遺族年金受給者向け給付金」について
- (2) 平成 27 年度国保診療所の診療状況について
- (3) 第 6 期介護保険事業計画に基づく事業者募集について（選定結果報告）
- (4) 平成 27 年度浜田市福祉・乳幼児等医療費の助成状況について
- (5) 浜田市広告付き窓口呼出番号案内表示システム設置運営事業の受託事業者の公募について
- (6) その他

2 その他

【議事等の経過】

[9時58分 開議]

道下委員長

ただいまから福祉環境調査会を開催したいと思います。議題に入る前に森谷委員からビデオ撮影の許可をお願いしたい旨の申し入れがありました。議運に諮ってからでないと私からは許可が出せないとお話しましたので、そのようにご了承願います。

1 執行部報告事項

(1)「平成28年度臨時福祉給付金」および「障害・遺族年金受給者向け給付金」について

道下委員長

執行部から説明をお願いします。地域福祉課長。

地域福祉課長

(以下、資料をもとに説明)

道下委員長

委員から質疑はありますか。澁谷委員。

澁谷委員

複雑な気がしてお尋ねします。障害遺族年金受給者向け給付金は800人とおっしゃいましたか。昨日の総務文教調査会にて、年金受給者人数のところで年間0円から78万円が7,520人とうかがいました。そういう少ない方が対象ではなく、あくまで障害年金と遺族年金を受給されている方が対象なんですか。

地域福祉課長

障害基礎年金、遺族基礎年金の方が対象となります。基礎年金となるとかなり絞られます。こちらで把握しているだけでも障害の基礎年金部分が約千数百人と基礎年金が100数10人しかいらっしゃらない。その中でも高齢者向けを受給されている方がいらっしゃるの、だいたい800人くらいが今の所の対象者となります。

澁谷委員

それでは、今回は年金の少ない方に対して支給があるわけではなく、障害基礎年金と遺族基礎年金対象者に縛られているということですか。

地域福祉課長

今現在高齢者向け給付金というのを申請を受け付けています。これが昨年度の臨時福祉給付金受給者の中で65歳以上の方が対象になっています。その中でも障害や遺族年金の65歳以上の方は、もう受給された方もいらっしゃると思います。それ以外の方が今回年金のほうの30,000円という給付金を受けられるということです。

澁谷委員

右側も当然それが入っているんですね。国の方針そのままなんでしょうが、生活保護受給者には消費税分の3000円が外されているのか、どう理解したら良いですか。

地域福祉課長

消費税が5パーセントから8パーセントに上がった、そのうちの食

費部分が低所得者には負担になるだろうということで、年間 6000 円分を支給する制度になります。生活保護の方についてはその部分はもう既に見込んでいるため、支給対象から外されています。

澁谷委員

その分先に増えているということですか。

地域福祉課長

その場ではなくて、制度の中も含めて、保護費も改定していますがその中で、もう見ているので別としている、というのが国の考えです。

道下委員長

他にありますか。

(「なし」という声あり)

それでは、次の議題にうつります。

(2) 平成 27 年度国保診療所の診療状況について

道下委員長

執行部から説明をお願いします。地域医療対策課長。

地域医療対策課長

(以下、資料をもとに説明)

道下委員長

委員から質疑はありますか。平石委員。

平石委員

北条先生が医療センターに行かれて、それから患者数が 25 年から減っていますよね。これは人口減によるものなのか、先生が 1 人居なくなって運営の仕方の中で診療所に行かなくなったのか。減少に至った原因を掴んでおられますか。

地域医療対策課長

波佐診療所ですが、平成 24 年度から若干減しています。人口減も含めての微減だと思っています。そういう状況もあるかと思っています。

森谷委員

そもそも総合医療、北条先生が医療センターに行っておられますが、それは浜田市にとってどのようなメリットを考えた末でしょうか。

地域医療対策課長

医療センターも総合診療科が新たに出来るときに、総合医師を探しておられました。今は週一で波佐診療所をお手伝いなさっています。病院と診療所の連携です。

森谷委員

詳しい考え方は分かりませんが、単純に、地方のお医者さんが中央に行かれたように思えますが。

地域医療対策課長

地方の医者というか、同じ浜田市内の診療所と病院の関係です。一応僻地診療所となっていますが、浜田市は連合体という形で、連携しています。足りない日時を補って連携しています。今は一人減のため土曜日隔週で半日ほど減っていますが、そこは連携しているので、患者数の減と診療日が隔週などイコールではないと思っています。

森谷委員

北条先生は素晴らしい先生です。僻地にいらっしゃるより医療セン

ターにいらっしゃって多くの患者さんを見る方が、市全体で見ればメリットだと思いますが、僻地の方々にとってはダメージではないですか。

(「配置換えしたときのお話をしたらどうですか」という声あり。)

地域医療対策課長 総合診療科が出来た時に先生を探されているとのことで、国保診療所の先生が異動されましたが、10年の約束ですので10年経って総合診療科の先生が育ってこられたら戻ってこられます。浜田市内の医療を大切にする、地域医療のためです。

森谷委員 うちの父親がお世話になったのはリハビリ科なんですが、あれも総合医療になるのでしょうか。

地域医療対策課長 医療センター内部のことについては当方では詳しくお答えできかねますが、話し合いの結果ではないでしょうか。

足立副委員長 訪問診療は含まれていないという認識でよろしいですか。

地域医療対策課長 訪問診療も延べ人数で入っています。

足立副委員長 入っているなら、出来れば今回は訪問診療だけの患者数推移が知りたいので、機会があれば資料をお願いします。診療日が変わったことによって中山間地域のデマンドタクシーとの整合性は合わされていますか。

地域医療対策課長 今回は隔週土曜が1回ずつ減る形なので、診療所に行かずに医療センター等の浜田の病院にお出かけになっていることが想定されます。デマンドタクシーについてまでは確認していませんが、波佐地域の地域協議会等には説明をさせていただいています。

足立副委員長 デマンドタクシーは利用者の大半が診療所に行かれる方だそうです。診療所は土曜日もやっているんですね。でも今のデマンドタクシーは土曜にやっていません。患者さんが本来行きたい曜日に行けない状況が発生します。そのあたり次の入札時には、市民が診療所に通うことを想定して勤務時間等を決めていただくように部署で検討してください。

地域医療対策課長 今後検討させていただきます。

道下委員長 その他ありますか。西村委員。

西村委員 27年度月別費用額となっていますが、アスタリスク部分を見ると診療報酬にかかる収入となっています。予算で言うと歳入に上がる額を指しているんだろうと思いますがそういうことですか。

それと、旭で費用額が年度ごとに上がっていますが、これは単純に

復帰促進センターオープンによる人口増と捉えて良いのか、それともむしろ子どもが増えた影響なのか、その辺をどのように捉えられているのか。

それから一番下の費用額内訳の部分で、例えば 27 年度の合計が 1 億 5 千 8 百万円あまり、26 年度が 1 億 5 千 7 百万円近く上がっています。これは予算で言えば、診療収入の外来収入に相当するのか確認したいです。27 年度は決算まだいただいていないので確認できませんが、26 年度の決算を見ますと、外来収入の決算値 1 億 5 千 4 百万円程度なので、この数字と少し違います。どのように捉えたら良いですか。

地域医療対策課長

費用額についてですが、診療報酬に係る収入は患者一部負担金も含めたものになりますので全部の収入になります。7 割保険から、3 割個人から、その全てになります。

2 番目の旭の診療所が多くなったというのはやはり、社会復帰促進センターが出来たことにより、職員とその家族分の診療が増えています。大人の診療、予防接種、健康診断など増えています。

3 番目の質問です。これは全部の収入になりますので、全体の決算とイコールになっています。

西村委員

具体的に言います。診療収入ということであると 26 年度決算は 1 億 7 千 3 百万円あまり、内訳として外来収入が 1 億 5 千 4 百万円、その他の診療収入ということ、1 千 9 百万円弱となっているので、いずれにせよこの数字と合わないのか、どの数字を取っているのかお聞きしたいのです。

地域医療対策課長

先ほど言いましたように、診療収入、これは費用額になります。あとその他、自由診療ではないですが、健康診断とかそういったその他の診療がはいってきますので、全体の診療収入は約 2 千万円くらい増えています。

道下委員長

また後で。

地域医療対策課長

こちらの資料は 4 月から 3 月までの年度で作っています。国保の特別会計は 3 月から 2 月なので、若干ずれてきます。単純に年度で区切ったものです。診療所で。

西村委員

一応それで受けますが、2000 万円近い差は大きすぎるので私はその他の診療収入が入っていないのではないかと思いました。その辺をまた確認して返答をお願いしたいと思います。

道下委員長 その部分はまた後で報告をお願いします。他に。
(「なし」という声あり)
それでは、次の議題にうつります。

(3) 第6期介護保険事業計画に基づく事業者募集について (選定結果報告)

道下委員長 執行部から説明をお願いします。健康長寿課長。
健康長寿課長 (以下、資料をもとに説明)
道下委員長 委員から質疑はありますか。足立副委員長。
足立副委員長 広域行政組合の方なので浜田市に聴くのもあれですが、何社募集して
 どういう理由でこちらの会社になったのですか。
健康長寿課長 今回は1社のみでした。選定基準は120点満点中の恐らく80点だ
 ったかと思いますがそれを無事越えたので選定に至りました。
足立副委員長 これの周知方法は私が知る限りホームページのみでした。地元事業
 所が全く手を挙げなかったことはとても残念です。市としては問題な
 いという認識でしょうか。
健康長寿課長 両市のホームページで公募させていただく周知方法を取っています。
 みずすみ会が地元か地元でないかもありますが、出来れば多くの事業
 所からの選定が望ましかったと思いますものの、今回は1社しか手が
 挙がらなかったのでやむをえないかなと考えております。
足立副委員長 第6期介護保険事業計画で、これで募集する案件は全て終了したと
 いうことですか。
健康長寿課長 その通りです。
道下委員長 その他ありますか。
(「なし」という声あり)
それでは、次の議題にうつります。

(4) 平成27年度浜田市福祉・乳幼児等医療費の助成状況について

道下委員長 執行部から説明をお願いします。医療保険課長。
医療保険課長 (以下、資料をもとに説明)
道下委員長 委員から質疑はありますか。
(「なし」という声あり)
それでは、次の議題にうつります。

(5) 浜田市広告付き窓口呼出番号案内表示システム設置運営事業の受託事業者の公募

について

- 道下委員長 執行部から説明をお願いします。総合窓口課長。
- 総合窓口課長 (以下、資料をもとに説明)
- 道下委員長 委員から質疑はありますか。森谷委員。
- 森谷委員 これは合銀のイメージですか、それとも医療センターのイメージですか。
- 総合窓口課長 こういうものがあると知り、各自治体の状況も調べたらかなりの自治体が採用していました。
- 森谷委員 医療センターは通り過ぎた人の番号も書いてあります。合銀はよく分からない選択ミスがあるみたいで、そういうのは構わないのなら空いてそうな所のボタンを押せば良いのかと思います。
- 総合窓口課長 発券機が老朽化で買い替えの時期に来ていますが、買い替えに数百万かかるとのことで、今回の機器導入を検討しました。設置場所とか職員の体制を考え、スムーズな対応が出来るようにしたいと思っています。
- 森谷委員 表示を見る限り、うっかり気づかなかった人の表示板がないので、その部分は知りたいと思ったんですが、分かりますか。
- 総合窓口課長 これから業者選定をして、浜田市の業務に適応した機器を設置してもらおう予定です。
- 森谷委員 そこまで色々情報が入った上に自分たちがやろうと思った時点で、簡単に見に行こうと思えば行ける所に足を運ばない姿勢が分かりません。是非、選定までに見てください。靴底減らして色々参考にしてください。
- 総合窓口課長 早速行ってみたいと思います。松江市役所には既に視察に行っていました。
- 平石委員 ちなみにこれ、費用的にはどのくらいかかるものですか。導入と管理費を合わせて。
- 総合窓口課長 実は1階に設置してある庁舎案内表示板は広告付きですが、この事業者から、今回の件も話を聞きました。最新のものをを見せていただいたら300万程度だとのことでした。それは機械の設置台数とかランクを変えることで、金額は変わってこようかと思います。
- 道下委員長 その他ありますか。
- (「なし」という声あり)
- それでは、次の議題にうつります。

(6) その他

道下委員長

その他ありますか。地域医療対策課長。

地域医療対策課長

診療所の決算関係ですが、26年度の決算は1億7300万円、これは外来やその他の診療収入全て足したものです。その他の診療収入は1800万、26年度はありましたので、この26年度の外来収入は1億54百……と、平成26年度の1億56百……の差は、先ほど言った年度の違いによるものです。4月から3月までのトータルを見ていただくとおわかりのとおり、月ごとに数百万の差が生じることもありますので、その差です。

道下委員長

その他ありますか。地域福祉課長。

地域福祉課長

執行部から報告いたしました項目について、全協での報告について確認させていただきます。執行部からの考えでは

- (1) 配布のみ
- (2) 配布のみ
- (3) 配布と説明
- (4) 配布のみ
- (5) 配布のみ

以上です。

道下委員長

委員の皆さんよろしいでしょうか。

(「異議なし」という声あり。)

西村委員

すみません、戻って質問したく手を挙げました。福祉医療費について私の認識になかったので確認のためお尋ねします。福祉医療費の範疇に後期高齢者医療が対象として含まれるんだという認識を私は持っていなかったので確認させてください。

もう1つは乳幼児医療費の関係で、27年度の当初予算説明資料の予算額と比較すると未就学児童の医療費助成額が7200万、予算額9600万と比べるとかなり乖離しています。小中学生の児童医療費助成事業についても約4600万円あまりに対し5500万円あまりと、乖離があります。その辺はどのように分析されているのか。

もう1つは対象者の人数です。小学生が2622人、中学生が1358人、足すと3980人です。ところが予算説明資料を読むと4150人で乖離があります。今回の資料が正しいのだと思いますがギャップがあり

すぎます。ご答弁いただきたいと思います。

医療保険課長

福祉医療費の対象に後期高齢被保険者が入るかですが、年齢関係なく対象に入っています。高齢者でも障害を持った方については、加入する保険に関係なく対象に入っています。

2点目ですが、予算と実績額についてですね。おっしゃるように3月補正で見直しして減額したと思いますが、特に大きいのがインフルエンザの流行で、見込みがたてられないため多めに取っています。今年のインフルについてはかなり後ずれで3月4月まで流行が延びました。かなり予測しがたいものでした。決算では後ずれの影響による減少もあると思います。

3点目についてですが、予算段階では教育委員会の在籍児童数で予算算定していますが、転入転出の影響で結果がこの人数になっています。100パーセントにもなっておりませんし、福祉制度の措置を受けている児童さんについては、この制度の対象外ですので、その辺の人数ギャップが出ているものと考えています。特に27年度は、資格がある人でも申請されていません。小学生で11名、中学生で10名の方が申請されずに、100パーセント交付されていない実態もありました。

西村委員

私がひっかかったのは乖離がある関係が、4150人と3980人、その乖離による影響が多少あったのかと思ったんですが、そうではなく、インフルエンザの見込みによる乖離だということで、それは納得しました。対象人数がどうなのかは確認しておいてほしいと思います。

医療保険課長

ご指摘のあったこの報告は実績ですので、予算要求段階人数については精査して確認しまた報告したいと思います。

道下委員長

その他ありますか。澁谷委員。

澁谷委員

先般浜田市内の事業所の方から、ごみ処理に対して非常に厳しくなっていて、経済活動に支障をきたしている。何故そこまで厳しくなっているのかとお叱りを受けました。これは6月議会に同僚議員の質問にかかるのか。また、担当課にそのような声は届いていませんか。

環境課長

何社か問合せがありました。コンビニさんはもちろん、民間事業者さんからもありました。我々もこの取組を進めるにあたり事業所にご案内文書等も送付し、かなりご理解いただけていると思いますが、まだ問合せはあります。今検討している中で、コンビニについてはリサイクルできるペットボトルや缶、プラ類、びんについては持ち込み搬入していただいてリサイクルすることを検討しています。市内事業者

さんをのぞかせていただいています。ゆうひパーク浜田等ではごみのマナーが悪いとのことで、市や警察と業者と現地視察しました。ゆうひパークではごみ箱を撤去している状況であります。ごみの量は減っているんですが、どうしても一般の観光客さんなどが、置いて帰るといふ状況もあるということで、ゆうひパークさんにも国土交通省に監視カメラの設置を検討してもらっていますが、その後の状況は我々も聞いていませんので、今後注視して行きたいと思います。

澁谷委員

6月議会の同僚の質問の関連ですよね。1つは受けて、2つ目からは廃棄処分にしろという認識で良いのでしょうか。

環境課長

今まで無制限で取っていましたが、その中には事業所から出る本来の廃棄物がありました。ですから市も、これは明らかに産業廃棄物だという確認もしたので、1袋までは受け付けるとさせていただきます。

澁谷委員

焼却場で燃やせるごみの拡大という話が同僚議員からあり、市側はもっと厳格に運用している方針だと思います。事業者さんにとっては方針転換のように映るんだろうと思います。厳格の理由と伺いますか、どういう経緯でそうなったのかお伺いします。

環境課長

ごみ分別関係でより厳しくなった理由ですが、これは元々広域行政組合さんがやっており市が引き継いだ形になっています。浜田市の分別ルールが曖昧に運用されていたため、若干反省をしてきちんとしたいんだと答弁しています。

森谷委員

再生資源ごみ、ペットボトル等は綺麗に洗った物を再生資源ごみといい、汚いまなものを廃プラなんですよ。業者さんにとっては無理だと思います。今、混焼実験をごみ焼却場でやっているはずですが。以前のダイオキシンの数値は基準からはるかに下回っています。今回聞いてみると、4月からやっていて5月はおやすみで、6月やって7月はまだ結果が出てないそうですが、今回はギリギリセーフだということです。何故かと聞けば測定業者が変わったせいだということです。数字を見て、どのように考えておられますか。

環境課長

私が承知している中で報告させていただきます。エコクリーンセンターにおいては4月下旬から混焼試験を行っています。高い数値が出たことも承知しています。搬入されるごみの質、浜田市においては不燃ごみ処理場でプラスチックを固めたものを一気に入れる場合と、紙類と混ぜて燃やすというような方法も検討しておられまして、そのあ

たり今後公表されるデータの中で、そのような動きがあるのかなと認識しております。

森谷委員 混焼実験は以前もありましたが、その時は低い数値だったはずですが。

環境課長 今のやり方とは手法が違うのかもしれませんが、その辺は把握していないので確認の必要があると思っています。

森谷委員 だから私はもう1つの業者に測定してもらうべきだと言っています。頑なに拒む理由は何ですか。金額が高いんですか。

環境課長 現在、広域の調整会議の中でも金額は示されました。ダイオキシンの試験が高いことは認識しております。

森谷委員 健康とか、汚染とかの問題ですから、この件は歴史館よりはるかに重要です。もう少し優先順位を考えてください。

道下委員長 この辺で福祉環境調査会を終わりたいと思います。お疲れ様でした。

〔 11 時 16 分 閉議 〕

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

福祉環境委員長 道 下 文 男